

子ども夢パーク年表

- 1986 S61 川崎市教育懇談会報告書「いきいきとした川崎の教育をめざして」内「子どもふれあい村」構想の提言
- 1989 H元 **子どもの権利条約 国連採択**
- 1994 H6 **子どもの権利条約日本批准**
子ども会議・市制70周年記念事業「川崎子ども会議」
- 1995 H7 地域教育会議にて「子ども会議」開催
- 1996 H8 「川崎子ども人権集会」
- 1997 H9 「川崎市子ども・夢・共和国」事業開始
- 1998 H10 「川崎子ども集会」
- 2001 H13.2.2 第1回(仮称)川崎子ども夢パーク推進委員会(以下、推進委員会)
- H13.2.10 第1回 子どもワークショップ
- H13.2.24 第2回 子どもワークショップ
- H13.3.2 第2回 推進委員会
- H13.3.23 第1回(仮称)川崎子ども夢パーク推進委員会 作業部会(以下、作業部)
- H13.3.28 第3回 子どもワークショップ
- H13.4 **川崎市子どもの権利に関する条例**
- H13.4.11 第2回 作業部会
- H13.4.16 第3回 推進委員会
- H13.4.16 第3回 作業部会
- H13.4.22 第4回 子どもワークショップ
- H13.5.11 第4回 作業部会
- H13.6.1 第5回 作業部会
- H13.6.18 第4回 推進委員会
- H13.6.18 **仮称川崎子ども夢パーク整備に係る基本構想及び基本計画報告書**
- H13.8.2 第5回 子どもワークショップ
- H13.8.30 第6回 子どもワークショップ
- H13.9.6 第5回 推進委員会 第6回 作業部会
- H13.9.21 第6回 作業部会
- H13.9.22 子ども設計検討会
- H13.10.19 第7回 作業部会
- H13.10.30 第6回 推進委員会
- H13.11.15 第8回 作業部会
- H13.11.27 第7回 推進委員会
- H13.12.3 第9回 作業部会
- 2002 H14.1.16 第10回 作業部会
- H14.1.29 第8回 推進委員会

夢パークって何？
夢パークのあり方、運営のあり方
などゆめパークの基本を決める
会議

こんなことをやりたい。
子どもの思いを
かたちにした。

子どもの権利
(参加活動の拠点づくり)
第31条 市は、子どもの自主的及び自発的な
参加活動を支援するため、子どもが子どもだけ
で自由に安心して集うことができる拠点づくりに
努めるものとする。

具体的なことを推進
委員会に提案する会
議

子どもワークショップ
ゆめパークでやりたいこと。
→いろいろな意見がでました。
→ゲーセンやお風呂は、無理。
→自分たちで考え、いろいろなこ
とができる施設。

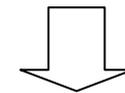
運営準備会は子どもと大人が
一緒になってゆめパークの運
営を考える会議
運営、利用規則、手引書、プ

夢パーク
基本構想・基本計画

○川崎の子ども、子ども
による、子どものための施設。

○子どもの意志を尊重した
運営

○子どもたちが学び、遊び
ながら創りあげていく施設



夢パークはこんな場所です
①やりたいことができる場所
②安心していられる場所
③いろいろな世代、技を持つ

- H14.2.28 第11回 作業部会
- H14.3.6 仮称川崎子ども夢パーク運営準備会委員選考委員会
- H14.3 仮称川崎子ども夢パーク市民参加・市民意見調査業務報告書
- H14.4.13 第1回夢パーク運営準備会(子どもと大人が一緒)
- H14.5.11 第2回夢パーク運営準備会(子どもと大人が一緒)
- H14.5.18 羽根木プレーパーク見学会
- H14.6.1 町田市子どもセンター「ばあん」見学会
- H14.6.2 杉並区児童青少年センター「ゆう杉並」見学会
- H14.6.8 第3回夢パーク運営準備会(子どもと大人が一緒)
- H14.7.6 第4回夢パーク運営準備会(この回より子どもと大人が別に話し合っ
- H14.7.13 プレーパークチーム検討会
- H14.7.20 全体としての居場所チーム検討会
- H14.7.28 施設内プログラムチーム検討会
- H14.8.10 第5回夢パーク運営準備会
- H14.9.14 第6回夢パーク運営準備会
- H14.10.7 第1回コアラ会議
- H14.10.12 第7回夢パーク運営準備会
- H14.10.26 学集会1 プレーパークについて
- H14.11.1 第2回コアラ会議
- H14.11.2 (仮称)子ども夢パーク現地見学会+プレーパーク体験イベント
- H14.11.9 第8回夢パーク運営準備会
- H14.12.1 第3回コアラ会議
- H14.12.7 学集会2 障害について
- H14.12.7 第9回夢パーク運営準備会
- H14.12.8 学集会3 不登校について
- H14.12.23 学集会4 ゆう杉並に学ぶ
- 2003 H15.1.11 第10回夢パーク運営準備会
- H15.1.18 第4回コアラ会議
- H15.2.8 第11回夢パーク運営準備会
- H15.2.10 第12回夢パーク運営準備会
- H15.3.8 第13回夢パーク運営準備会
- H15.3.18 川崎市子ども夢パーク条例
- H15.3.22 第14回夢パーク運営準備会
- H15.3 平成14年度川崎市子ども夢パーク市民参加・市民意見調査報告書
- H15.4.12 運営準備会 大人部会
- H15.5.2 運営準備会 事務局チーム打合せ
- H15.5.21 運営準備会
- H15.5.29 運営準備会 ルール部会
- H15.6.14 運営準備会 全体会
- H15.6.20 運営準備会 大人部会
- H15.6.23 運営準備会 プレーパークチーム
- H15.7 川崎市子ども夢パーク市民参加・市民意見調査業務報告書
- H15.7.10 運営準備会

建設計画、利用規則、プログラム、イベント計画実施など

検討課題が多く、運営準備会委員がそれぞれに分かれてグループをつくり、「運営」を検討。外の人から見れば、ごちゃごちゃ。

運営準備会の一つ。子ども部会と大人部会がそれぞれの意見を発表し、話し合う。

大山街道ふるさと館

(目的及び設置)
第1条 子どもが遊び、及び夢を育はぐむ場並びに子どもの活動の拠点及び居場所を提供するとともに、子どもの自主的及び自発的活動を支援することにより、それぞれの子どもの成長及び子どもの地域等における活動への参加の促進に寄与するため、川崎市子ども夢パーク(以下「夢パーク」という)を設置する。

ここに書いてある日程の5倍ぐらい、部会は開かれました。

6月からはゆめパークスタッフも加わり、各チームはフル活動。ゆめパークの目玉の一つプレーパーク。だいたいあつく夢を語っていました。

- 人、生き方との多様な出会いのある場所
- ④障害児、外国人、幼児と保護者などいろいろな子どもが活動できる場
- ⑤川崎の子どものネットワークの拠点となる場
- 運営で大事にすること
- ①子どもの声を尊重した運営
- ②自分の責任で自由に活動できる運営体制
- ③いろいろな人の輪を広げて活動の可能性を広げていく
- ④みんなで工夫し変えていけるやわらかい運営体制
- ⑤市民と行政のパートナーシップで運営



運営体制について
(1)運営委員会
子ども夢パークの運営に関する基本事項を決定します。子どもと大人の委員会
(2)子ども運営委員会
子どもによる決定機関。それを運営委員会に提案します。
小学生部会
中学生部会
高校生部会
(3)スタッフ
日常サービスの提供。子どもたちの一番身近な存在。
(4)支援委員会
地域の人、専門家など夢パークを支援します。



H15.7.23

オープン

H15.8.2

8月2日(土)、3日(日)オープニングイベント



川崎市子ども夢パーク宣言 030723

- ・川崎市子どもの権利条例を実現していく場です。
 - ・川崎市が決めた子どもについての約束を実現します。
 - ・自分の責任で自由に遊ぶ場です。
 - ・自分がやりたいと思ったことにチャレンジできます。たとえそれでけがをしても人のせいにはしません。
 - ・ありのままの自分でいられる場です。
 - ・ひとりひとりが大切にされて安心していられる場です。
 - ・作り続けていく場です。
 - ・かべをつくったり色をぬったり、部屋の名まえをつけたり、花をうえたり、遊具をつくったり、みんなで相談しながら居心地のいい場所にしていこう。
 - ・多様に育ち・学ぶ子どもの居場所。
 - ・学校以外で子どもたちが多様に育ち・学ぶことを保障する場をつくります。
 - ・子どもたちが自分で動かしていく場。
- 子どもたちでつくる運営委員会で夢パークのことを決めていきます。イベントも自分たちで企画します。大人はそれをお手伝いします。川崎市子ども会議の事務局もあります。